

# 景気景況調査報告

(第9回)

平成30年 1～3月期 実績

平成30年 4～6月期 見通し

平成30年5月

**3期連続悪化、見込みで全国下回る**

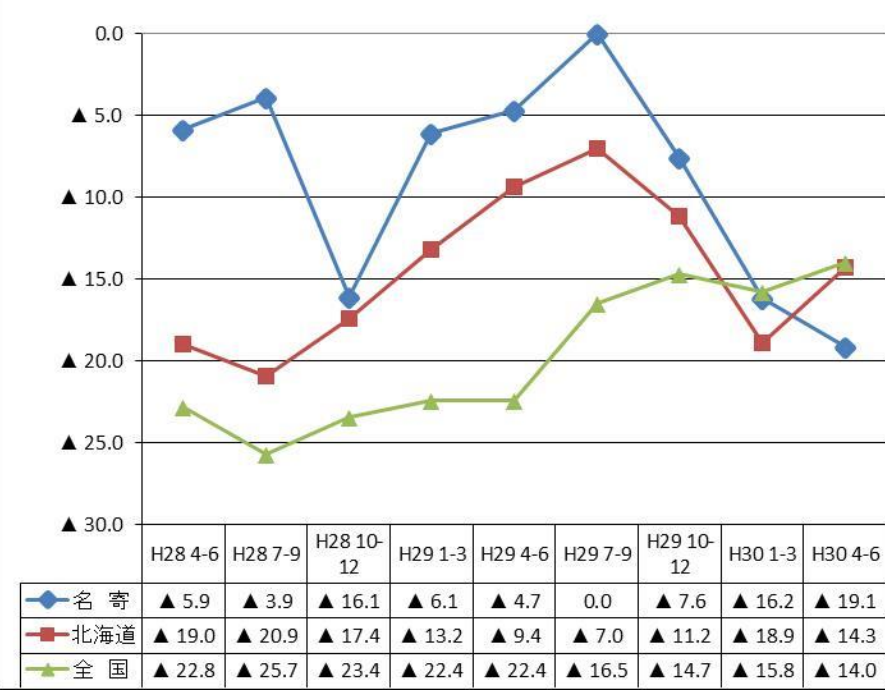
**名寄商工会議所**

# I 調査要領

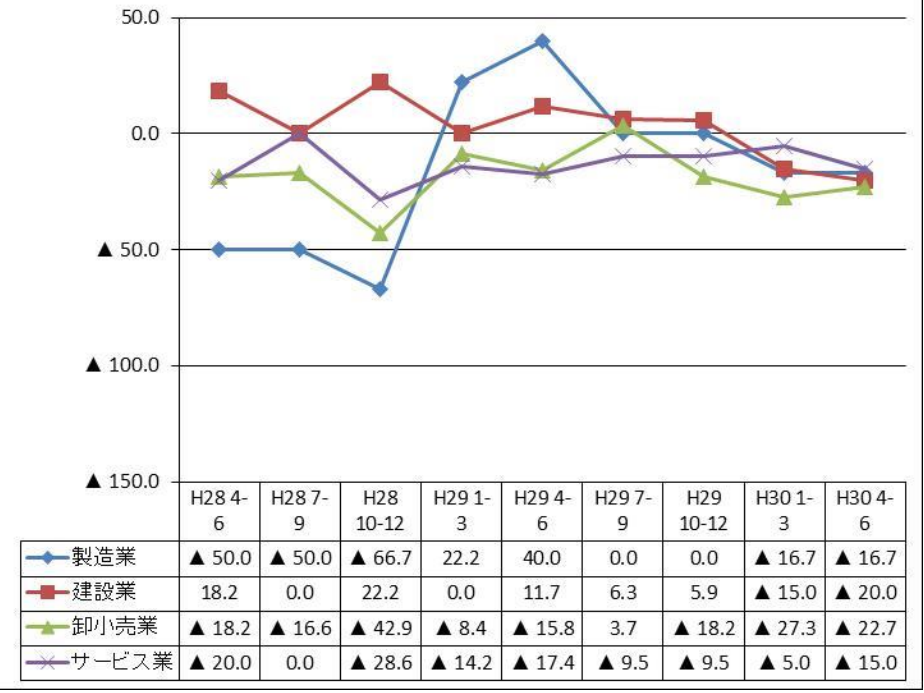
- ①調査対象期間 平成30年1～3月期の実績及び平成30年4～6月期の見通し
- ②調査内容 製造業、建設業、卸小売業、サービス業の4業種に分類し、売上高、採算、仕入、従業員、業況、資金繰りの6項目について調査を実施。
- ③調査対象 当所会員企業（FAXで協力願い）70社

# II 調査結果

### 全業種平均業況DI



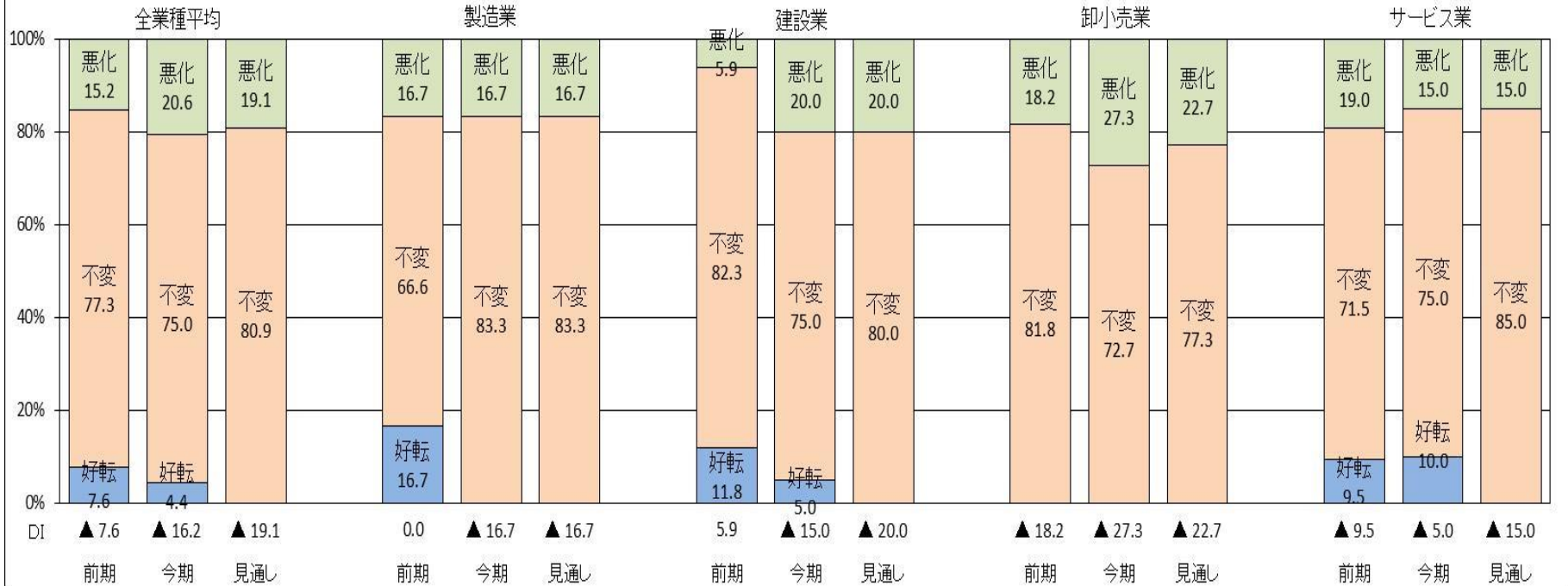
### 業種別業況DI



※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- ・ 今期、全業種平均で▲16.2ポイントと前回の調査に比べ8.6ポイント減少、サービス業以外悪化したことが要因。見通しでは平均▲19.1ポイントと更なる悪化が見込まれる。
- ・ 北海道（道商連調査）の景気と比較すると、今期は2.7ポイント良いが、見通しでは4.8ポイント悪化見込みとなった。
- ・ 全国（日商調査）の景気と比較すると、今期は0.4ポイント悪いが、見通しでも5.1ポイント悪化状況となった。
- ・ 見通しでは、全国は改善傾向にあるが、名寄市は当期より悪化傾向にある。

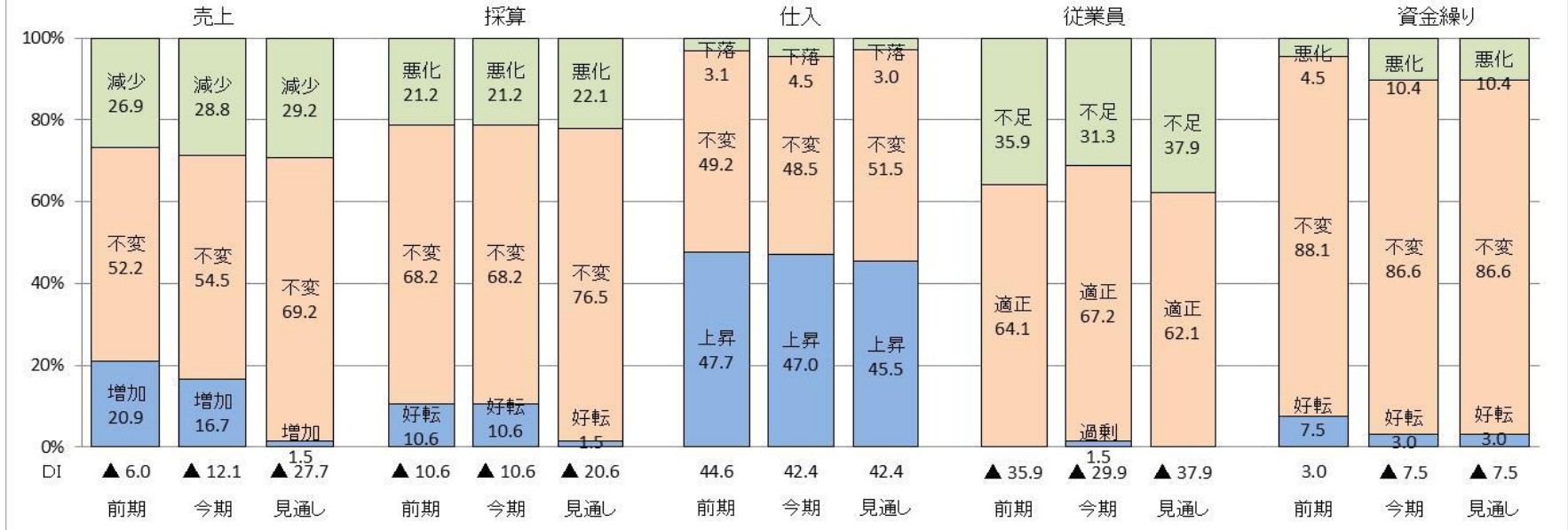
## 業種別業況回答割合



### ※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- ・製造業～今期「好転」がなくなり「不変」増加、見通しでも今期と変わらない状況となっている。
- ・建設業～今期は前期と比べ「好転」が減少し、「悪化」が増加した。見通しでは「好転」すると回答がなくなった。  
今期は雪が多く除雪で良かったとの回答がある一方、昨年が良かったため現在は落ち込んでいることや、世代交代の真只中で先行きの不安感がある。
- ・卸小売業～今期「悪化」27.3%と前期より9.1%増加し「好転」回答がなくなっている。要因は人口減と高齢化によるものと回答がある。  
見通しでは「悪化」が22.7%と今期より若干減少見込みである。市内全体の人口減少が不安視されている。
- ・サービス業～今期「悪化」15.0%と前期より4.0%減少し、「好転」も0.5%増加している。見通しでは「悪化」は変わらないものの、「好転」するという意見がなくなった。新店舗が出てきて顧客の分散による影響があると思われる。

## 全業種平均項目別回答割合



### 売上 DI

見通しは▲27.7ポイントと今期より15.6ポイント悪化見込。

- ・公共事業の減少や人口減少、高齢化による。新店舗増加による顧客の分散

### 採算 DI

今期▲10.6ポイントで前期と変化なかったものの、見込みでは▲20.6ポイントと今期より10.0ポイント増加。

- [好転の要因]
- [悪化の要因]

- ・外注等経費削減
- ・降雪量が多かったため売上げ増となった
- ・資材、人件費の値上り
- ・積雪が多かったため工事着工の遅れから
- ・労働力不足による営業の減少

### 仕入 DI

今期42.4ポイントと前期より2.2ポイント減少。見込みでも同ポイント。

- [上昇の要因]

- ・原油価格の上昇
- ・人件費上昇による値上
- ・資材や原材料の高騰

### 従業員 DI

今期で▲29.9ポイントと前期よりも6.0ポイント減少。見込みでは▲37.9ポイントと従業員不足が懸念される。

以前として退職後の補充ができないことや、資格が必要などで人員不足が続いており、特に建設業による不足の声が多い。

- [不足の要因]

- ・現場の増により人手不足
- ・技術者、作業員不足
- ・募集しても応募なし
- ・高齢化により退職者が増えた
- ・地域労働者不足
- ・退職者の補充ができていない

### 資金繰り DI

今期で▲7.5ポイントと前期から10.5ポイント「悪化」。見込みでも今期同様となった。

売上減少にもかかわらず、人件費増により利益が出ないことが要因見込まれる。